

# 免税軽油を使用されるみなさんへ

## 1 免税軽油とは

軽油には1リットルにつき32.1円の軽油引取税が課税されています。この軽油引取税が一定の要件のもとに免除されている軽油のことを免税軽油といいます。

免税軽油を使用するには、事前に「免税軽油使用者証」及び「免税証」の交付を受ける必要があります。

## 2 免税軽油が使用できる場合

石油化学製品を製造する事業を営む者が当該事業の事業場においてエチレン等を製造するための原料などの特定の用途に軽油を使用する場合、免税軽油を使用することができます。

対象となる方、その業務、機械等は、法令により、細かく規定されていますので、詳しいことをご存知になりたい方は、最寄りの県民局までお問い合わせください。

## 3 免税軽油が使用できない場合

### (1) 免税軽油使用者証を交付できない場合

次のいずれかの事項に該当する場合、免税軽油使用者証を交付できません。

- ① 使用する軽油の用途が法令に定められた用途に該当しないとき。
- ② 地方税に関する法令の規定に違反したことにより、免税軽油使用者証及び免税証の返納を命ぜられ、その日から起算して2年を経過しない者であるとき。
- ③ 国税又は地方税の滞納処分を受け、その滞納処分の日から起算して2年を経過しない者であるとき。
- ④ 国税若しくは地方税に関する法令の規定により罰金以上の刑に処せられ、又は国税犯則取締法若しくは関税法の規定により通告処分を受け、それぞれ、その刑の執行を終わり、若しくは執行を受けることがなくなった日又はその通告の旨を履行した日から起算して3年を経過しない者であるとき。
- ⑤ 法人の場合、その役員のうち②から④までのいずれかに該当する者があるとき。
- ⑥ ②から⑤までに掲げる場合のほか、免税軽油使用者証を交付することが軽油引取税の取締り又は保全上特に不相当と認めるとき。

### (2) 免税証を交付できない場合

次のいずれかの事項に該当する場合、免税証を交付できません。

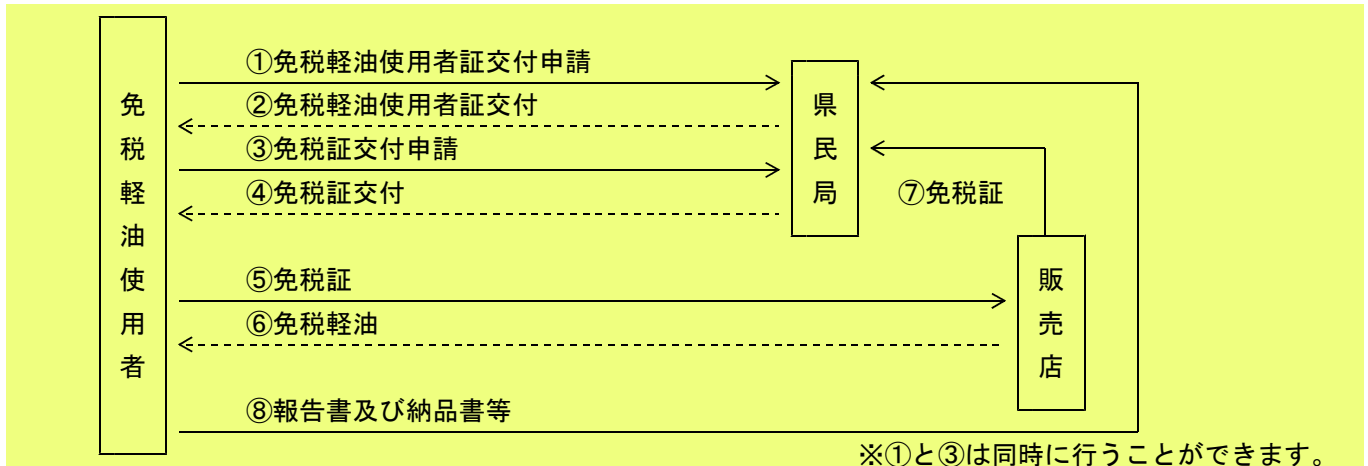
- ① 免税軽油使用者が引取りを行おうとする軽油の数量がその用途及び使用期間に照らし適当でないと認めるとき。
- ② 免税軽油使用者が上記(1)②から⑤までのいずれかに該当するに至ったとき。
- ③ 免税軽油使用者が定められた報告書を提出しないとき。
- ④ ②及び③に掲げる場合のほか、免税証を交付することが軽油引取税の取締り又は保全上特に不相当と認めるとき。

## 4 申請手続などの流れ

免税軽油を使用するには、まず、免税軽油使用者証の交付を受けた後に免税証の交付を受けることが必要となります。次に、免税証に記載されている販売店に免税証を提出すれば、免税軽油を購入することができます。

なお、免税軽油使用者には、免税軽油の引取りと、その使用について報告書等を提出することが義務付けられていますのでご留意願います。

また、免税軽油使用者証及び免税証を発行する際は、書類審査だけでなく、現地を確認したり、これらが発行した後に使用状況を調査することがありますので、その際には、御協力をお願いします。



### ■ 免税軽油使用者証交付申請

免税軽油使用者証の交付申請書に必要な事項を記載するとともに、押印の上、次の添付書類を併せて提出してください。

- ア 免税用途に該当する事業を営むことを確認できる書類
- イ 免税用途に該当する機械を使用することを確認できる書類及び参考資料  
機械の販売証明書、検査証の写し、リース契約書、固定資産台帳の写し、  
カタログ、写真等
- ウ 他の業者に事業等を請け負わせている場合にあつては、請負契約書等の写し
- エ 誓約書
- オ 手数料(750円分の岡山県収入証紙)

※ その他必要な書類の提出をお願いすることがありますので、県民局の担当者に確認してください。

※ 免税軽油使用者証を受け取る際は、印章が必要となります。

### ■ 免税証交付申請

免税証交付申請書に必要な事項を記載するとともに、押印の上、次の書類を併せて提出してください。

- ア 免税軽油使用者証
- イ 免税軽油所要数量計算書
- ウ 新規申請以外の場合は、免税軽油の引取りに係る報告書

※ 免税証の受取り時に印章が必要です。

## ■ 免税軽油使用者証書換申請(変更のあるとき必要)

免税軽油使用者証に記載されている事項に変更が生じた場合は、県民局で書換の申請を行ってください。機械を更新する場合や追加する場合は、免税軽油使用者証と新しい機械の販売証明書等が必要となります。

## 5 注意事項

免税軽油使用者は次のことに注意してください。

### ■ 免税軽油使用者証の取扱い

- ・ 免税軽油使用者証の有効期間は、通常免税軽油使用者証の交付日から**3年**となります。
- ・ 記載事項に変更が生じた場合は、速やかに書換えの手続きを行ってください。記載事項と異なる用途には免税軽油を使用できません。
- ・ 免税軽油使用者証は紛失しないよう注意して管理してください。万一、紛失した場合は、速やかに届け出てください。
- ・ 免税軽油使用者証の有効期間が過ぎた場合や免税軽油の引取りを必要としなくなった場合は速やかに返納してください。

### ■ 免税証の取扱い

- ・ 免税証の有効期間は最長で**1年**です。
- ・ 免税証に記載されている販売店で免税軽油を購入して、免税軽油の量に応じて免税証を販売店に渡してください。
- ・ 免税証を使用する場合は、必ず販売店の名称、免税軽油の引取日、あなたの住所、氏名を免税証の裏面に記入するとともに、押印の上使用してください。
- ・ やむを得ず免税証に記載されていない販売店で購入する場合は、免税証に記載されている販売店の名称を訂正してから使用してください。(訂正印が必要です。)
- ・ やむを得ず免税証に記載されている数量よりも少量の免税軽油を引き取る必要がある場合は、記載数量を訂正してから使用してください。(訂正印が必要です。)
- ・ 免税証は紛失しないよう注意して管理してください。万一、紛失した場合は、速やかに届け出てください。
- ・ 有効期間が過ぎている免税証は使用できません。
- ・ 免税軽油を引き取る必要がなくなった場合は、速やかに返納してください。

## ■ 報告義務

- ・ 免税軽油を使用されている方は、原則として毎月末日までに前月分の免税軽油の引取数量、使用状況、販売業者等の名称、販売業者に提出した免税証に関する事項等について、報告書を提出する義務があります。（ただし、免税証に記載されている年間の引取数量が24kL未満である場合等は、次回の免税証の交付日が報告書の提出期限となります。）
- ・ 免税証及び免税軽油の受払簿を作成するとともに、免税軽油を引き取った際の納品書等を保管してください。

## ■ 次のような場合は、軽油引取税が課せられたり、罰せられることがあります。

- ・ 偽って免税証の交付を受け、免税軽油を購入したとき
- ・ 免税証又は免税軽油を他人に譲り渡したり、譲り受けたり、貸し借りしたりしたとき
- ・ 前もって販売業者に免税証を預けるなど、免税証と引換えに免税軽油を購入しなかったとき
- ・ 有効期限の過ぎた免税証で免税軽油を購入したとき
- ・ 免税軽油使用者証に記載されていない機械の用途に免税軽油を使用したとき
- ・ 事業の廃止、中止、変更等により、免税軽油使用者でなくなった時に保有していた免税軽油を無断で処分したとき

## ■ 次のような場合は、免税軽油使用者証及び免税証の返納を命ずることがあります。

- ・ 免税軽油使用者証の交付を受けた者が地方税に関する法令の規定に違反したとき
- ・ その他軽油引取税の取締り又は保全上特に必要があると認めるとき

※ 免税軽油使用者証及び免税証を交付できない要件（1頁を参照）に該当するに至ったとき（この場合、要件に該当した年月日にさかのぼって課税されることがあります。）

## 6 問い合わせ先

（岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町にお住まいの方）

### 備前県民局 税務部 課税課 間税課税班

〒700-8604 岡山県岡山市北区弓之町6-1  
電話 086-233-9819 F A X 086-224-2859  
e-mail bizen-zei@pref.okayama.lg.jp

（倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町にお住まいの方）

### 備中県民局 税務部 課税課 個人・間税課税班

〒710-8530 岡山県倉敷市羽島1083  
電話 086-434-7017 F A X 086-427-5344  
e-mail bichu-zei@pref.okayama.lg.jp

（津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町にお住まいの方）

### 美作県民局 税務部 課税課 事業課税班

〒708-8506 岡山県津山市山下53  
電話 0868-23-1272 F A X 0868-24-3445  
e-mail mima-zei@pref.okayama.lg.jp